

北社会ニュース★96号

2013年10月17日

発行者： 鈴木壮夫

竜巻、大型台風等々、今まで体験してこなかった自然災害が頻繁に日本列島を襲ってきている。深夜の土石流、お亡くなりになられた方々、不明の方々、心からご冥福を祈っております。今後の対策が早急に必要となった。自然環境の大変化に謙虚に対応せねばと思う昨今です。“自然の力”に対抗する微力な“人間”を再認識せねばと！！

(1) 10月21日(月)開催 第314回 北社会

講師： 瀧上 真由氏

テーマ：「好感度2ランクアップする写真とは？」

北社会としてはユニークなテーマであり、而も講師は若い女性です。推薦者は最近まで、約10年にわたって北社会をひっぱってきた功労者の西條氏です。生きる力、根性は素晴らしいそうです。写真も興味があります。皆さんが人生を振り返って思い出に残る写真は何かあるでしょうか。ワクワクした期待いっぱい、楽しみにしております。

(2) 11月27日(水)開催 第315回 北社会

講師： 濱田 直嗣氏 (高11回) 宮城県慶長使節船ミュージアム館長～石巻～

テーマ：「政宗の夢 常長の現(うつつ)」-仮題-

2013年10月28日は、「慶長使節」～サンフアンパウテスタ号～が石巻の港を出帆して四百年目です。濱田氏は40年ほどを費やして歴史的、文化史的な解明に努力してきました。そして、慶長大津波で沿岸は壊滅的な被害を受け、かなりの人が亡くなった。でも伊達政宗は津波の跡地で塩田の開発を始めたり、前向きの姿勢で日本の欧州外交を先駆けた。政宗がやったことはまさに「復興」そのものと語っています。

(3) 1月20日(月)開催 第316回 北社会

新年会を開催致します。北社会を盛り上げるには何が必要か、ご意見待っています。

(4) 「北社会」300回記念誌発行について

青山・和泉井兩大先輩初め8人の会員から原稿が届りかりです。左子信氏(高11回・三九出版)の適切なアドバイスを頼りに発行に努めます。